



電気ガスの負担軽減を喜べますか？

報道によると自公政府の第2次補正予算案は約29兆円。電気やガス、ガソリン等の負担軽減策を採る。国際的エネルギー価格上昇への対策は必要。しかし、これは一時的。日本経済を浮揚させる政策がないと、又、元に戻る。

29兆円の財源は？

補正予算の財源は国債。国民誰もが給料が上がらないとか、仕事が無い、将来が不安だと思っっているのに、29兆も誰が国に貸す？

国民の懐具合とは別で日本の大企業は五百兆円も内部留保がある。世界には超大富豪が沢山いるのです。

その国債、大金持ちにどう見えるか？三井住友のHPでは、日本国債の十年物の利回りは0.24%、一方、米国債十年物は4.052%。

日本国債は3.812%価値が少ない。これで日本の国債を買う人がいる？もし売出し価格を下げると、利子を増やしたのと同じ。超低金利政策に反する。

かつて戦前戦中の日本は日銀に引受けさせた。お金は無いのに紙幣をどんどん印刷。お札の価値が下がる超インフレとなった。庶民の預金は無価値に。結局、庶民の預金を国が奪ったのだ。

今は財政法で日銀の国債引受けは禁止。しかし、「金融調節」として市中から国債を買うのは可能。つまり、銀行に買わせ、後から日銀がそれを買うという実質日銀国債引受けの道があるように見える。

結局、補正予算は超インフレに通ずるのではないか？

あなたはこう思われますか？

県立生命の星・地球博物館

神奈川県小田原市入生田

二〇二二年十月



「みどころ沢山！かながわの大地」特別展が地球博物館で11月3日まで開催された。

地球の表面の大地は卵の殻のようなプレートで覆われている。それは幾つにも割れていて、それぞれ別な動きをしている。神奈川はフィリピンが載っているプレート、西の方に広がるユーラシアプレート、北米に繋がる北米プレートがぶつかり合っている所。そして東方から太平洋プレートが潜り込んでいる。その為に特別に複雑な大地になっている。丹沢の山、大磯丘陵はフィリピンプレートに載った島が流れて来た物。

今回は特別展だったが、常設展でもそのエッセンスは見られる。

大きな動物の化石もあれば、今の神奈川の動物、植物も見られる。子供も大人も楽しめる。

